

インストールのしかた

1-1 インストールの前に

新退職報償金システム ver.3は、消防基金ホームページにご用意しております。

なお、インストールをする前には、必ず消防団員等公務災害補償等実務の手引き（以下「実務の手引き」という。）「第2部 第9章 9-1 データ（accdb ファイル）のバックアップ」を行ってください。

1-2 インストール時における注意点

- ① 本システムのインストール・アンインストールは、必ず他のアプリケーションソフトを終了させてから行ってください。
- ② インストール及びシステムを起動するユーザーのアカウント名は、半角英文字にしてください。
- ③ システムドライブ（使用中の Windows がインストールされたドライブ）が C ドライブであるパソコンに、本システムをインストールしてください。
- ④ 本システムは、システムドライブにインストールしてください。
- ⑤ サーバ向け OS に本システムをインストールしないでください。
- ⑥ 上記を守っていない場合、仮に動作していたとしても、サポートの対象外とします。

1-3 環境確認

① システム動作条件

本システムのインストールには、管理者権限を持つユーザーアカウントが必要です。制限付きのユーザーアカウントの場合、正しくインストールできません。

② OSの確認

本システムをインストールするパソコンには、Windows8.1 又は 10 が正常にインストールされていることが必要です。

③ Microsoft .NET Framework 4.6の確認

本システムは「Microsoft.NET Framework 4.6」を必須としているため、当該コンポーネントがインストールされていない場合、インストール時に併せて当該コンポーネントのインストーラーが起動します。

④ Microsoft Access Database Engine 2010の確認

本システムは、「Microsoft Access Database Engine 2010 (32bit)」を必須としています。インストールされていない場合、インストール時に併せて Microsoft Access Database Engine 2010 のインストーラーが起動します。

⑤ インストール容量の確認

インストール作業を実施する前に、十分な空き容量があることを確認してください。

1-4 インストール方法

新システムのインストールにはインストーラーの実行が必要です。インストーラーは消防基金ホームページの市町村等専用ページへログインし、「資料」よりダウンロード可能です（ログインには ID 及びパスワードが必要です。令和 2 年 12 月 2 日付け事務連絡または実務の手引き巻頭の「INDEX」末尾をご覧ください。）。なお、ダウンロードが困難な環境の場合は CD を送付しますので、消防基金退職報償課までご連絡ください。

1-5 インストール

1 旧バージョンシステムのアンインストール



注：アンインストールを実行する前には必ず実務の手引き「第2部 第9章 9-1 データ (acddb ファイル) のバックアップ」を行ってください。

同じパソコンで当システムのバージョンアップを行う場合には、旧バージョンシステムのアンインストールが必要となります。手順については、以下のとおりです。

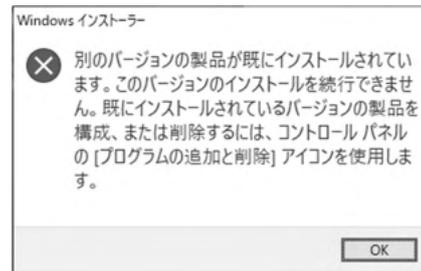
Ver.3 シリーズのインストーラーを起動した際に、当該パソコンに「新退職報償金システム」がインストールされている場合は、右のようなポップアップがでます。

- ① 管理者権限を持つユーザーアカウントでアンインストールを実行します。

「コントロールパネル」画面を起動し、「プログラム」から「プログラムと機能」を選択します。

- ② 一覧から「新退職報償金システム」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

以降、画面の指示に従って、アンインストールを行ってください。

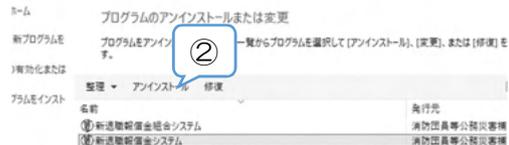


← → ↑ ↓ コントロール パネル

コンピューターの設定を調整します



→ コントロール パネル > プログラム > プログラムと機能



2 インストールの開始

- ① 新退職報償金システムのインストーラー（新退職報償金システム.exe）を起動してください。
以降、画面の指示に従って、インストールを実行します。
- ② 自動で必要ファイルを一時フォルダーに展開します。

3 Microsoft Access Database Engine のインストール

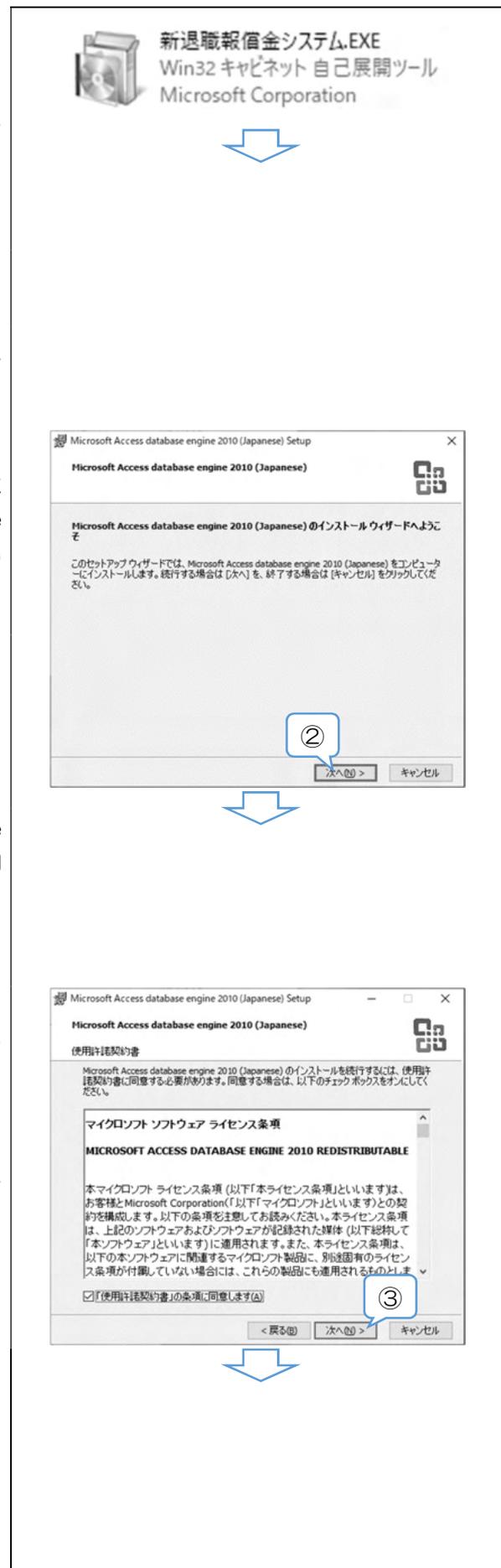
- ① インストールするパソコンに、「Microsoft Access 2010」又は「Microsoft Access Database Engine 2010」のいずれもインストールされていない場合に、自動で必要ファイルを一時フォルダーに展開します。

当該コンポーネントがインストールされている場合は、「4 Microsoft .NET Framework」のインストールへ自動で進みます。

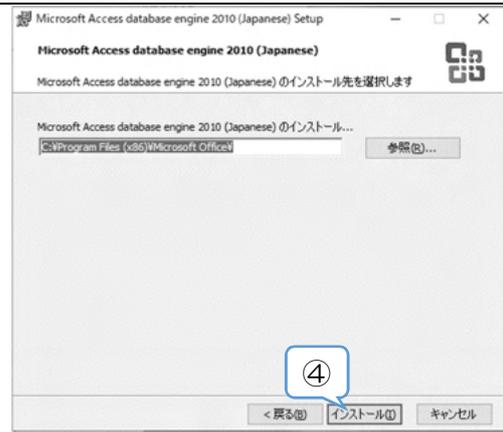
- ② 「Microsoft Access Database Engine 2010」のインストールウィザードが起動します。
「次へ」をクリックしてください。

- ③ 「使用許諾契約書」が表示されます。
使用許諾契約書を確認のうえ、同意する場合は、「使用許諾契約書の条項に同意します」にチェックを入れてから「次へ」をクリックしてください。
同意しない場合は「キャンセル」を選択してください。

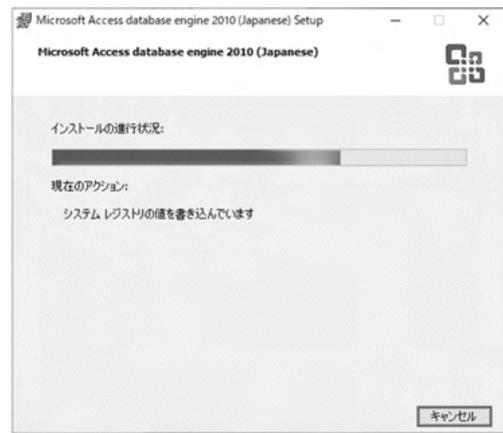
「キャンセル」の場合、「セットアップ 終了確認」のダイアログが表示されます。
「はい」を選択すると、「セットアップ 取消」のダイアログが表示されて、インストールが終了します。



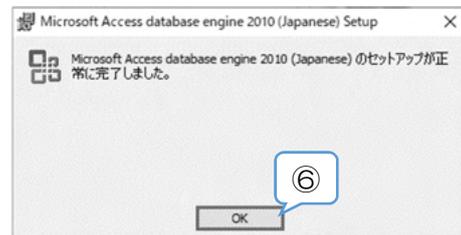
- ④ インストール先が表示されます。フォルダーを確認し、「インストール」をクリックしてください。
※ 通常はインストールフォルダーは変更しません。



- ⑤ 「インストール」をクリック後、「Microsoft Access Database Engine 2010」のインストールが開始され、画面上にインストール進行状況が表示されます。
※ 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合には、内容を確認のうえ「はい」をクリックしてください。



- ⑥ インストールが正常に終了すると、「セットアップ完了」のダイアログが表示されます。
「OK」をクリックして当該コンポーネントのインストールを完了してください。



4 Microsoft .NET Framework 4.6 のインストール

- ① 上記必須コンポーネントがインストールされていない場合、インストールウィザードが起動するので、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。

当該コンポーネントがインストールされている場合は、「5 新システムのインストール」へ自動で進みます。

5 新システムのインストール

- ① 必須コンポーネントのインストールが完了又はインストール済みだった場合、「新退職報償金システム セットアップ ウィザード」が起動します。「次へ」をクリックしてください。

- ② 「インストール フォルダーの選択」が表示されます。

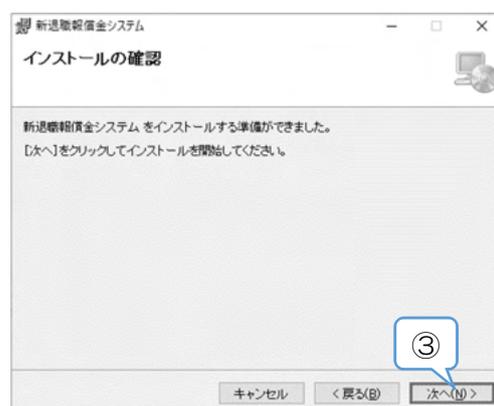
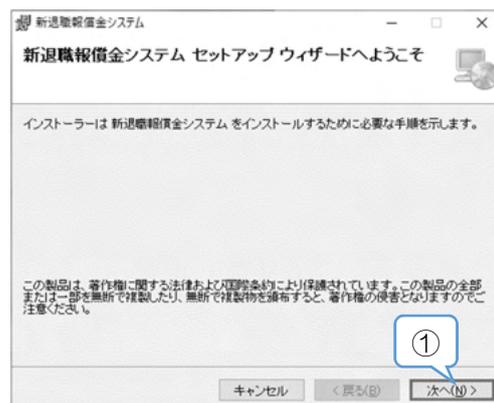
インストール先のフォルダーの確認及び新システムの使用ユーザーを設定し、「次へ」をクリックしてください。

「すべてのユーザー」を選択した場合は、全てのユーザーアカウントのスタートメニューにショートカットが設定されます（通常は、こちらを選択します。）

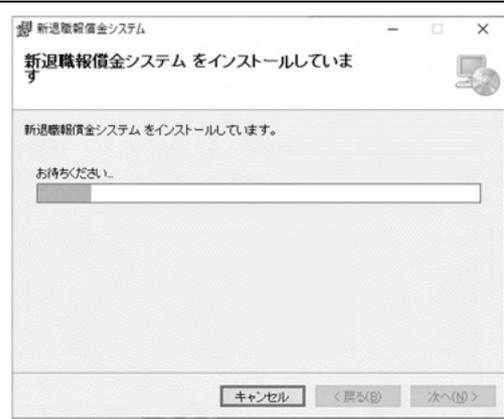
「このユーザーのみ」を選択した場合は、現在ログイン中ユーザーのスタートメニューにのみショートカットが設定されます。

※インストールフォルダーに「Program Files」など権限に制限があるフォルダーを指定しないでください

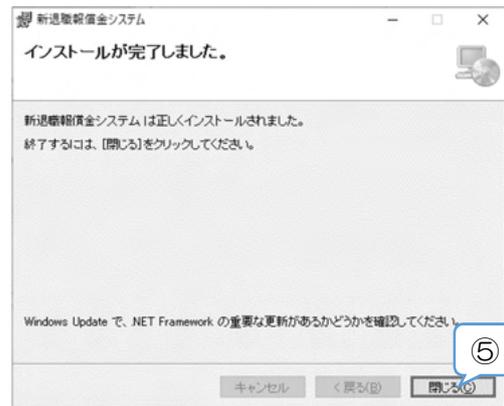
- ③ 「インストールの確認」が表示されたら、「次へ」をクリックしてください。



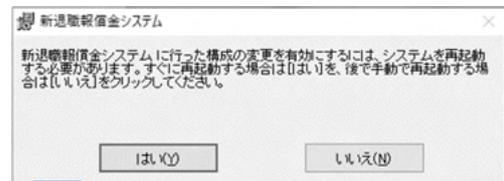
- ④ 「新退職報償金システム」のインストールが開始され、画面上にインストール進行状況が表示されます。



- ⑤ インストールが正常に終了すると、「インストールが完了しました。」と表示されます。
「閉じる」をクリックしてセットアップウィザードを終了してください。



- ⑥ 再起動を求めるダイアログが表示されます。すぐに再起動をする場合は「はい」をクリックしてください。



6 マスターデータの取込み（アプリケーション更新）

Ver.3 より追加された住所・銀行情報入力支援機能を有効にするために、以下の作業を行います。

- 1 消防基金ホームページより、「masterdata_yyyymm.exe」をダウンロード。（yyyymm：年月）
- 2 「masterdata_yyyymm.exe」を起動すると、ダイアログが表示されるので「はい」をクリック。
- 3 完了するとダイアログが表示されるので「OK」をクリック。

